

FUCHU

2014年春

広島県立府中高等学校同窓会 東京支部会報

第7号



再会の絆 未来への絆



小川支部長（昭和35年卒 高11回 前幹事長）

宮崎幹事長（昭和44年卒 高20回）体制で

東京支部も新たなスタートです。！

支部ホームページもリニューアルオープン

<http://www.hiroshima-fuchu-h-tokyo.com>

支部Facebookページも出来ました。

<https://www.facebook.com/fuchudousoutokyo>

平成25年5月18日
千代田区の学士会館で
東京支部総会・懇親会
を開催しました。



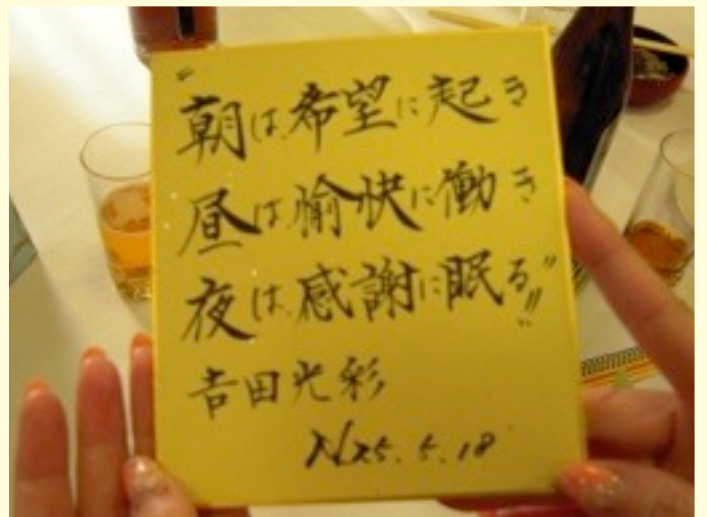
弦楽四重奏ミニコンサート



府中高校100周年記念テーブル対抗生き残りクイズ



村上悦雄校長先生からもクイズの解答をいただく



はるばる米国からの参加も 48年卒のみなさん



26年度当番幹事 55年卒の皆さん



当番幹事54年卒の皆さん 二次会



平成25年 東京支部総会・懇親会出席者一覧 (一部 敬称略)

来 賓

村上 悦雄 様 (府中高等学校 校長)
 平山 八広 様 (昭和54年卒 同窓会本部 副会長)
 演奏協力
 檜崎 仁美 様 (昭和55年卒：元RCCアナウンサー/現姓 村田)
 村田 幸謙 様 (ヴァイオリニスト)

演 奏

村田 晃歌 様、浮村恵梨子 様、渡部 咲耶 様、日下部杏奈 様
 演奏曲目
 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク第一楽章」(モーツァルト)、「黒い瞳」(ロシア民謡)
 「コーヒールンパ」、「民謡メドレー」、「世界に一つだけの花」、「独眼竜政宗のテーマ」
 「Change the world」(エリック・クラプトン)「見上げてごらん夜の星を」

16年卒 吉田 耕三	34年卒 酒井 進 山中 宮次郎 蘭牟田 規夫	買原 雅恵 (木下) 菊岡 和俊 桑田 制三	原 瑞穂 錦古里 素子 (佐藤)	藤広 信良 門田 博文	48年卒 井上 誠 田部 啓治 黒河 宏之	養安 理恵 (脊尾) 青山 滋之 金子 由紀子 (馬場)	矢倉 靖子 (佐々田) 山岸 清美 (石川) 光成 慎二	三谷 ひろみ (甲斐) 福知 薫 (河面) 岡田 秀哉	飯田 泰弘 57年卒 長谷川 陽一 山田 泰二 松田 吉紀
26年卒 甲斐 昭次 宅味 大治	菊岡 隆 佐藤 敦子 (小川)	5阿彌 延衣 新城 鉄美	41年卒 棚橋 壽美 (橋本) 萩原 洋子	君島 郁美 (橋高) 木村 久丹彦 小川 修司	45年卒 君島 郁美 (橋高) 東 容子 (井上)	藤井 昌子 (石岡) 金光 和子 (小川)	53年卒 小川 正則 小川 由美子 菊地 真由美 (桐島)	58年卒 渡辺 照幸 児玉 和久	59年卒 唐川 照史 藤田 由美 田口 充宏
27年卒 助迫 邦利 藤田 靖	37年卒 (竹本) 35年卒 小川 博靖	金田 邦彦 服部 治 朝野 睦子	37年卒 品川 裕明 42年卒 川部 武郎	日谷 伸児 吉原 茂美 (田口)	49年卒 殿元 清司 50年卒 小谷 明美 (杉原)	52年卒 前原 秀子 (西畑) 芥川 容子 (横山)	54年卒 井上 清明 富田 季代恵 (坂本)	55年卒 唐川 照史 藤田 由美 (杉原)	59年卒 田口 充宏 安原 良恵 十枝 郁子 (小森)
30年卒 浦上 浩	上林 檀子 (栗原)	松岡 忠勝 吉田 憲司	川部 武郎 原 美知子 (名和)	松川 賢二 高橋 宏	小谷 明美 (杉原) 血海 康行	富永 博敏 和田 一義 川角 智子 (林)	富田 季代恵 (坂本) 前田 文子 (河相)	山本 典令 渡辺 理生 村田 仁美 (檜崎)	安原 良恵 十枝 郁子 (小森)
31年卒 小林 成喜	高場 光恵 (田中)	38年卒 佐藤 義雄 菊岡 博子 (佐藤)	43年卒 浅野 友子 (平山)	46年卒 稲垣 宏雄	富永 博敏 和田 一義 川角 智子 (林)	亀山 澄美 (菊岡) 原田 実能 鈴木 恵子 (内田)	前田 文子 (河相) 小泉 由紀 (永井)	村田 仁美 (檜崎) 平田 俊司	平成13年卒 大村 俊雅
32年卒 藤岡 康宏 後藤 広太郎 平田 怜子 (坂本)	唐川 安弘 小野 公子 藤田 佑二 北川 健司	菊岡 博子 (佐藤) 山本 英美子	浅野 友子 (平山) 44年卒 岸房 隆行	47年卒 今川 修吉 岩田 功 影山 修一	和田 一義 川角 智子 (林) 佐崎 淳子 奥田 達郎	鈴木 恵子 (内田) 坂手 紀美子 (伊藤)	小泉 由紀 (永井) 石井 孝幸 佐藤 陽子	柴床 恵美 粟根 康浩 江草 広滋	平成15年卒 岩岡 隆之 中土 悦秀
33年卒 服部 保弘	36年卒 小林 健二 太田 恵子 (佐藤)	岡田 知行 鎌倉 康裕 寺岡 暉人 中山 正千代	宮崎 孝直 宮崎 千代子 (松坂) 児玉 慶三	延安 賢治 木村 健 藤原 善充 森田 育宏	51年卒 佐藤 宏一 中山 幹彦 中山 ひとみ	滝口 洋子 (中山) 花山 照子 (榎田)	和田 好弘 廣本 比登志 金野 奈保子 坂元 誠司	56年卒 藤井 康雄 池田 正明 松岡 浩仁	中土 悦秀

平成25年 通信連絡賛助金を頂戴した方々 敬称略 (お名前漏れ等、ご指摘下さい)

16年卒 吉田 耕三	森信 節子 浅野 収	34年卒 佐伯 澄江 (谷川)	金田 邦彦 青野 紀美子 (小田)	金丸 征四 下 勝 野宗 公美子 (津村)	43年卒 中山 善治 福元 治美 (神奈輪)	下井 真由美 (壇上) 中久喜 幸子 (門利)	50年卒 野村 祥子 (福田) 小谷 明美 (杉原)	54年卒 坂口 昌美 坪井 正博 石井 孝幸 和田 好弘 澄川 雅子 加藤 潤子 (栗田)	平山 知子 (水金) 山中 由美 (北野斗) 若林 亨昭 和田 秀典 和藤 潤子 (栗田)
19年卒 門田 晟	30年卒 佐々田 正彦 中村 恵子 (土谷)	斎藤 喜代 (有地) 蘭牟田 規夫 佐藤 敦子 (小川)	神谷 俊男 香山 拓子 (瀬尾) 河村 恵子 (土永)	松坂 龍二 吉岡 豊美	松岡 ひろ子 (河面) 三島 久美子 (八藤後)	47年卒 鈴木 瑞恵 (藤井) 加納 洋子 (高井)	小谷 明美 (杉原) 血海 康行 富永 博敏	池田 和史 横山 由美枝 (三原) 前田 文子 (川相)	長谷川陽一 高尾 尚志
20年卒 橋高 大典	野田 佑 (伊藤)	野田 佑 (伊藤)	黒木 武彦 高杉 玲子 (桑田)	40年卒 岡田 知行 高島 明子 (山崎)	三島 久美子 (八藤後)	鈴木 瑞恵 (藤井) 加納 洋子 (高井)	富永 博敏	池田 和史 横山 由美枝 (三原) 前田 文子 (川相)	58年卒 木川 晃子 (能宗) 児玉 和久 名越 美保 (山口)
22年卒 大塚 欣二 小林 章人 高西 忠司	宮野 稜生	松本 幸恵 桑田 英樹 藤原 和子 (清川)	黒木 武彦 高杉 玲子 (桑田) 前川 雪子 (白井)	岡田 知行 高島 明子 (山崎) 柚木 友子 (白毛)	44年卒 牛尾 八重子 (佐々木) 中野 幸子 (津村)	加納 洋子 (高井) 山上 明美 (中居)	51年卒 羽島 朱実 (三笠) 日谷 育子 (松本)	池田 和史 横山 由美枝 (三原) 前田 文子 (川相)	58年卒 木川 晃子 (能宗) 児玉 和久 名越 美保 (山口)
24年卒 松坂 隆之	重田 弘毅 為房 怜子 (高橋)	31年卒 重田 弘毅 為房 怜子 山中 宮次郎	永地 康莊 酒井 進 山中 宮次郎	鎌倉 康裕 北浦 明三 木村 茂治 齊藤 登美子 (近藤)	47年卒 鈴木 瑞恵 (藤井) 加納 洋子 (高井)	中野 幸子 (津村) 掛江 実 宮崎 孝直 宮崎 千代子 (松坂)	日谷 育子 (松本) 中山 幹彦 中山 ひとみ	池田 和史 横山 由美枝 (三原) 前田 文子 (川相)	58年卒 木川 晃子 (能宗) 児玉 和久 名越 美保 (山口)
26年卒 藤村 宏幸 宅味 大治	前川 昭彦 戸田 豊 藤岡 康宏 松本 雅子 (小川)	32年卒 前川 昭彦 戸田 豊 藤岡 康宏 松本 雅子 (小川)	35年卒 小川 英光 小野 公子 東田 喜輔	鎌倉 康裕 北浦 明三 木村 茂治 齊藤 登美子 (近藤)	47年卒 鈴木 瑞恵 (藤井) 加納 洋子 (高井)	中野 幸子 (津村) 掛江 実 宮崎 孝直 宮崎 千代子 (松坂)	日谷 育子 (松本) 中山 幹彦 中山 ひとみ	池田 和史 横山 由美枝 (三原) 前田 文子 (川相)	58年卒 木川 晃子 (能宗) 児玉 和久 名越 美保 (山口)
27年卒 池田 裕昭 助迫 邦利 佐藤 益子 鎌倉 憲治	鴨田 卓爾 河上 紘子 (中村 弘子)	阿部 範子 (長谷川) 門田 耕爾 新城 鉄美 浦上 彰夫	長野 香代子 (豊田) 山本 美英子 (小森)	40年卒 岡田 知行 高島 明子 (山崎) 柚木 友子 (白毛)	44年卒 牛尾 八重子 (佐々木) 中野 幸子 (津村)	加納 洋子 (高井) 山上 明美 (中居)	日谷 育子 (松本) 中山 幹彦 中山 ひとみ	池田 和史 横山 由美枝 (三原) 前田 文子 (川相)	58年卒 木川 晃子 (能宗) 児玉 和久 名越 美保 (山口)
28年卒 川原 進 神田 庄二 永久 計朗 橋高 泰司	廣川 正博 前川 克也 後藤 広太郎	36年卒 桑田 制三 五阿彌 延衣 黒木 主晴 小田 純美 (菅野)	森信 慎二郎 佐藤 義雄	40年卒 岡田 知行 高島 明子 (山崎) 柚木 友子 (白毛)	44年卒 牛尾 八重子 (佐々木) 中野 幸子 (津村)	加納 洋子 (高井) 山上 明美 (中居)	日谷 育子 (松本) 中山 幹彦 中山 ひとみ	池田 和史 横山 由美枝 (三原) 前田 文子 (川相)	58年卒 木川 晃子 (能宗) 児玉 和久 名越 美保 (山口)
29年卒 郷丸 政幸 市場 正敏 佐藤 昭三 宮原 是中	33年卒 檜崎 光 (吉川) 服部 保弘 森平 和美 (小川)	36年卒 桑田 制三 五阿彌 延衣 黒木 主晴 小田 純美 (菅野)	39年卒 高山 美英子 (佐々田) 松本 千恵子 (藤岡)	40年卒 岡田 知行 高島 明子 (山崎) 柚木 友子 (白毛)	44年卒 牛尾 八重子 (佐々木) 中野 幸子 (津村)	加納 洋子 (高井) 山上 明美 (中居)	日谷 育子 (松本) 中山 幹彦 中山 ひとみ	池田 和史 横山 由美枝 (三原) 前田 文子 (川相)	58年卒 木川 晃子 (能宗) 児玉 和久 名越 美保 (山口)

* 赤字の方は
総会当日または
その直前・
直後に賛助金
を頂戴した方
です。会報発
行時点でお名
前が漏れてお
りました。誠
に申し訳ござ
いませんでし
た。
青字の方も、漏れておりまし
た。重ねてお詫致します。

皆さん 植木屋さんになりましょう（支部長に就任して）

私は学生時代、多摩川のほとりに住んでいました。といいましても、決して橋の下ではありません。東横線の田園調布の駅に降り、高級住宅街をまっすぐ通り抜けますと、私でも落ち着ける庶民の町があります。その一角に下宿していました。下宿から田園調布の駅まで毎日歩いて通学していました。田舎から出てきたばかりの私にとりまして、この住宅街は夢の世界でした。天気の良い日など、できるだけ遠回りをして、街並みを楽しんだものです。

そんなある日、足の向くままに住宅街を歩いていますと、何処からともなく、庭木の手入れをする音が聞こえてきました。回りを見渡しても、人影はありません。立派な庭木が見えるだけです。それでも、パチッ、パチッと、手際のよい鋏の音が聞こえてきます。よく見ると、それは、大きな庭木の中から聞こえていたのです。その木の中に、植木屋さんがすっぽりととけ込んで、仕事をしていました。

私は、「ああ、これだ!」と思いました。仕事をするためには、その中に入っていかなければいけません。外からいろいろ批評するのは、評論家の仕事です。我々も外から庭木を見て、鑑賞することはできます。しかし、庭木の外にいたのでは、立派な庭を造ることはできません。我々も、何かをしようと思えば、その中に入っていかなければいけないのです。しかも、渦中にありながら、冷静に全体を見ていなければいけないのです。

植木屋さんがそうです。庭木の中にすっぽりと身を置きながら、しかも、目の前の小枝だけでなく、その木全体を、あるいは庭全体を見ているのです。目の前の小枝を切るか切らないかは、その木全体から決まってくることであり、さらには、その庭全体から決まってくるのです。もう50年以上も前の経験ですが、いまだに鮮明に思い出すことができます。

ところで、東京支部を楽しい集まりにしようと思えば、積極的に東京支部の中に入っていくことです。東京支部への参加の仕方は、支部の役員になったり、当番幹事になることだけではありません。同窓会のために働くということは、自分も含めた会員の皆様、あるいは、母校や郷里の方々に喜んでいただけることをするということです。そのような参加の仕方にはいろいろあります。

まずは、友人と誘い合って、総会・懇親会に参加しましょう。そして、年次を越えた交流の輪を拡げて下さい。府中高校の卒業生は、本当に様々な分野で活躍しておられます。そのような方々と直接話をしていきますと、幸せな気持ちになります。また、役員や当番幹事でなくても、いくらでも企画に参加することができます。アトラクションでも、このような演奏を聴きたいとか、このようなテーマの講演を聴きたいという希望を寄せて下さい。会報に自ら寄稿して頂いてもかまいませんし、このような方がいらっしゃるといっ情報だけでもかまいません。広報担当幹事がすぐに取材に伺います。さらには、小さなグループで、できれば年次を超えたグループで、旅行や見学会を企画して下さい。普段はなかなか見ることのできない施設の見学でも大丈夫です。そのような分野の同窓生と一緒に、難しい企画を実現することもできます。こうして触れ合いの輪が広がっていきます。人と人との触れ合いが人生を豊かにします。皆さん、一緒に植木屋さんになりましょう。

(小川英光 新支部長 35年卒)



シニアゴルファー・フォーサムパーティ

今年(2013.5)の総会・懇親会場で、菊岡さんからお声掛けりでできたのが広く年代を跨いだシニアゴルファー・フォーサムパーティ(宅味さん:81歳、菊岡さん(兄):73歳、菊岡さん(弟)71歳、佐藤:69歳)です。

これまで2度ほど、宅味さんのホームコースである常陽カントリー倶楽部でプレイしました。松林に囲まれた平坦なコースです。

写真は、快晴に恵まれた2013/11/26(火)の時のティーグラウンド近くでのショットです。

時々ふる里の話をしながら、楽しく廻っています。

何と云っても、皆さん宅味さんの健脚ぶりに舌を巻いています。それにショットは肩と腰の捻転を伴い、とても81歳のショットとは思えないほどパワフルです。



このメンバーの中の実力者No.1は、何と云っても菊岡さん(弟)で、現在も競技会に出られているそうです。腕立て伏せ毎日1,000回などの日ごろ鍛錬・体力作りをされている由です。

これが、71歳を感じさせないスコアの秘訣のようです。また、菊岡さん(兄)は太極拳の先生をされており体は頑強で、ドライバー飛距離はNo.1です。

小生が一番年少とあって、それに負けじとハードヒットするものの、飛距離、安定感でもとても敵わず、広いフェアウェイにも拘わらず松林にトラップされ

撃沈が続いていますが、80歳代までプレイしてエイジ・シュートができればと願っていますので、色々な意味で夢と勇気を貰っています。次回は総会の前にはやろうということになっています。楽しみです。

(佐藤義雄 副幹事長 38年卒)

(再掲) 通信連絡賛助金について(任意)

平成19年(2007年)から発行を始めた東京支部会報は、多くの皆様から概ねご好評頂いており、総会出席者数もじわじわと増加傾向にあります。また有難いことに「総会には出席はできないが、会報は送って欲しい」といって下さる方が200名近くいらっしゃいます。

東京支部では発足以来、年に1度の総会・懇親会の出席者から頂く会費の中から、総会費用(会場費・飲食費・通信連絡費・ゲストへの謝礼)や支部運営経費を賄って参りました。通常の宴席と違い、飲食部分に充てられるのは頂いた会費の5割程度でしかなく、せっかくの出席者の満足感を得にくい状況でした。

そこで、まずは会報を発行して、支部の活動や会員の方々の近況をご紹介することにより、東京支部を身近に感じて頂けるようにする事を考えました。そして、この会報を「購読していただく」という意味で、あるいは、東京支部の各種活動への賛助の意味で、任意ではありますが「通信連絡賛助金」という制度を設けさせていただきました。お陰さまで、毎年200名近くの方から30万円を越える賛助金を頂戴しています。詳しくは、下の表をご覧ください。

100周年事業は支部会員の皆様からも多大なるご協力をいただき、無事成功裏に終わりました。新たなる歴史を刻む母校や郷里の発展に寄与する為にも、若い世代にも出席出来るよう会費を低く抑え、なおかつ支部の財政基盤をより強固にする必要がございます。

趣旨にご賛同いただけましたら、次の2つの方法のうちいずれかをお願い致します。お一人様 一口1000円/年です。

1.同封のゆうちょ銀行の振込用紙をお使い頂き、支部の口座へお振り込み

誠に申し訳ございませんが、振込手数料はご負担お願い致します。(ゆうちょ銀行の窓口だと120円、同行のATMからは80円です。ぱるる口座お持ちの場合は口座間振込 無料の様です。)

2.総会・懇親会当日ご持参いただく。

直近3力年の通信連絡賛助金 受領額

平成22年度(2010年)	331,000
平成23年度(2011年)	398,000
平成24年度(2012年)	361,000

***初めて東京支部からお便りする方には振込用紙が同封されていない場合があります。その場合、次号会報送付時に是非ご検討をお願い致します。

私たちの同窓会

府中高校を1955年(昭和30年)に卒業した第6期生は、普通科5クラス、生活科1クラス、商業科3クラス、卒業生は386名です。在学中は科が違いますとほとんど交流がなく、お話しをする事は余りありませんでした。それが今では皆さまとも大いに歓談するようになりました。それもこれも同窓会があればこそです。

学年全体の同窓会は、集まりやすいので福山で行い、今年で連続19回となりました。最初は100名以上あった参加者も最近では80名前後となりました。また始めた頃は2月11日の休日でしたが、定年等により自由な時間を持てる今では気候のよい5月に開催しています。大いに歓談した後、会の終わりには全員が手を繋いで輪になり校歌斉唱、そして青い山脈を合唱します。

地元の各クラスの幹事さんに負担を掛けていることでしょうか。また、運営は持ち回りで当番クラスが中心となって責任を担います。このような事が長く続いた要因です。

関東地区の同期会は毎年11月23日の休日に集うようになり、既に40年程になります。最初は電話で連絡を受けて、新宿のティールームで7、8名が会い、食事をしながら「今後も会おうよ、11月23日の休日がよいよ」と話になり、お世話は男性・女性1名ずつが持ち回りでと話がまとまってから、40年近くになります。今では毎年広島の方からも参加者があり10数名前後の会です。今後もできるかぎり継続してゆきたいものです。

東京の会とは別に関西の友人達も時折集って、ハイキングなどをしていましたが、一度関西と東京で合同の会を、となり中間の浜名湖で10数名で楽しい時を過ごし、別れるときに「この楽しい会は何かで残せないかと話し、地元の方々にも呼びかけようと、関西の友人の企画で旅行をする事になり、同期の友人が白馬でペンションを営んでいるので行こうと、有志による二年に一度の旅行会FF会(府中フレンド)が発足し、主に信州を中心に立山黒部アルペンルート・白川郷・上高地、時には金沢・能登等々50名前後の参加者で二泊三日の旅行会が10回以上になり、大いに楽しんでます。

楽しむと言えば、ここ数年来、8月の下旬に福山の天満屋の催事場で府中高校第6回生作品展を行っています。今年も7回目を行います。6期の皆様が絵・書・写真・手芸等々趣味を作品として展示し、地域の人々に見て頂くなんと楽しいことではないでしょうか。皆さまも8月に帰郷の折には是非足を運んで下さい。

旅を楽しみ、趣味を楽しみ友を大切にす6期の友人は人生の宝物です。良き友人に出会った府中高校に感謝します。

(昭和30年卒 6期生 宮野 稜生)

支部会員のみなさんの近況報告（返信ハガキやメールから 平成25年4月頃）

昭和16年卒 吉田 耕三
平成7年以来、書道の勉強をし、現在賞状書士五段です

昭和17年卒 松本 洋二
現在国外と日本の往復で仕事をしておりますので、郵送していただいても開封が遅くなってしまいます。全ての連絡はメールでお願い致します。

昭和20年卒 橋高 大典
(同期の会報を同封いただきました)

昭和26年卒 宅味 大治
3月8日から4月10日まで府中に居ました。27年卒のゴルフコンペが新市CCなどで毎月第4金曜日に催され時々参加しています。(会長：稲葉、幹事：後藤)

昭和28年卒 長久 雄三
胃を切除したため、ダンピング症候群でおとなしくしています。2から3年で回復したらまた出席したいと思っています。

昭和29年卒 森信 節子
古希に始めたダイビングに相変わらずうつつを抜かしております。ダイビングボート参加者の中での最年長ということも多いのですが、海の中は静かで私の癒しの世界でもあります。魚の写真を撮ってきて帰ってからパソコンでそれを見ては、にこっとしている有様。何時まで出来るかわからないのですが、当分はこれで遊んでいたいのです。

寺地 敏子 (旧姓 高山)
福山出身の夫と揃って健康に過ごしています。

昭和30年卒 宮野 稜生
30年卒(6期生)は5月15日16日と倉敷にて同期会を開催します。同期会に出席し、その後墓参、老年の親族伺いの予定があり今回は欠席します。

戸田 裕
ぜん息が心配で参加出来ません。いつ発生するか不安な発作で団体旅行やいろいろな行事に参加出来なくなりました。

小林 進
幹事の皆様ご活躍ご苦勞様でありがとうございます。当日、帰省の所用があり出席出来ず残念です。ご成功お祈り致します。

昭和32年卒 藤岡 康宏
古希は決してまれではなく、普通の事になってきました。元気な間は前に進みたいと思います。

松本 雅子 (旧姓 小川)
昨年6月数年ぶりで帰府しました。出口町は石州街道入り口できれいになりびっくりしました。セーラー服も昔と変わらず懐かしいです。

昭和33年卒 長谷川 晋朗
65歳で会社勤めを終え、72歳まで自営業をやっていましたが、それも卒業して今はのんびり過ごしています。同窓諸氏のご健康を記念しています。

昭和35年卒 井上 敏子 (旧姓 高山)
ぼける前に出来る事とボランティアで忙しくしています。

藤田 佑二
国際交流の会や日本語を外国人に教えています。いずれもボランティアで。

昭和36年卒 橋本 洋子 (旧姓 金尾)
皆様お元気にてご活躍何よりです。当分なかなかゆっくりと時間をとれない暮らしですがいつの日か・・・。

黒木 主晴
左アキレス断裂 左足関節外側靭帯損傷。治療開始完治時期未定で今回は出席できません。

昭和37年卒 吉田 憲司
1月13日脳梗塞の疑いで、緊急入院。その後脳腫瘍が見つかり、現在東京女子医科大学病院で治療中です。5月には元気で復活して出席するつもりです。

高杉 玲子 (旧姓 桑田)
定年最後の年で慌ただしく失礼致します。皆様よろしく100周年記念誌なかなかよくできていて嬉しく思いました。

昭和38年卒 佐藤 義雄
4月から1日減り、週1日(毎水曜日)の勤務になりました。

久保川 守
決算理事会を前に内部監査が18日とどうしても調整がつかず欠席させていただきます。70歳まで働かせてもらえそうなので無理は言えません。

昭和39年卒 下 勝
佐藤副幹事長 名古屋の下です。加奈子さんと仲良く親子しています。

高山 芙美子 (旧姓 佐々田)
出席したいのですが、足の調子が悪くなり残念でたまりません。

昭和40年卒 藤岡 克巳
25年4月に再々就職し近所の図書館に勤務し始めました。

都丸 元恵 (旧姓 山本)
いつもいねいなお便り本当にありがとうございます。私の場合、7月8日が出席が容易にできる月です。本当に残念ですが何年か先には出席できると思います。その時を楽しみに。

木村 茂治
ご案内ありがとうございます。都合により欠席しますが、今後機会がありましたら出席したいと思います。会報をなつかしく拝見させて頂いています。

柚木 友子 (旧姓 赤毛)
親の介護などで出席出来ず申し訳なく思っています

山村 民枝 (旧姓 鎌倉)
地元での用事でなかなか参加出来ず残念です。今はいろんな事にチャレンジしています。

昭和41年卒 萩原 洋子 (旧姓 木下)
1週間前の予定になりますが、府中高校卒業生4名(地元の方、Uターンした方、東京在京2名)で山陰の旅をしてきました。孫の世話も一段落、仕事も一段落、主婦業も一段落と自由度が多くなった世代に旅は欠かせません。

飯尾 邦子 (旧姓 杉原)
いつもお世話になりありがとうございます。

徳毛 誠治

今回も先約あり失礼致します。全体の同窓会はなかなか難しい面が多々ありますが、継続して実施することは大事だと思えます。

昭和43年卒 福元 治美 (旧姓 神奈輪)
在宅介護の為、何う事ができません。お手を煩わせますが、どうぞ宜しくお願いします。(DVD記念誌ご希望)

諸岡 正行
住居が大阪なので、退職してからは東京に行きにくくなりました。

三島久美子 (旧姓 八藤後)
長い間ありがとうございます。母の介護でなかなか動きがとれません。気持ちだけ通信連絡賛助金を振り込ませていただきました。

昭和44年卒 横山 茂樹
今年5月に二人目の孫 誕生予定です。毎年ご案内ありがとうございます。いつかはご案内する側にまわらないといけないと思っています。

掛江 実

素晴らしい会報ありがとうございます。毎年5月末の木曜日に上京、翌日金曜日の朝一からの会義に出席が恒例となっています。

昭和45年卒 関田 千津江 (旧姓 池庄司)
昨年転居しました。土日メインの仕事をしていて出席できません。いつもお世話頂きありがとうございます。

日谷 伸児

毎年同窓生に会うのが最大の楽しみです。

昭和47年卒 藤木 利明
会社の同期会と重なり欠席します。

前場 尚子 (旧姓 池田)
皆様の様子がわかって嬉しいです。とはいえ総会に出席しなくて申し訳ないです。なにかと忙しくして毎日生活に追われているような状態です。幹事の方々にはお忙しいでしょうにありがとうございます。100周年の式典、放送部の方の文章もよく分かりました。

藤原 善充

今年で60歳です。最近の話題は健康維持と年金の事ばかりです。皆さんと会えるのを楽しみにしています。

昭和48年卒 井上 誠

昨年より単身赴任を終え芝浦に通勤しております。

昭和49年卒 児玉 要

昨年より山梨県甲府市の支店に勤務のため、報告が遅くなりました。

宮坂 初恵 (旧姓 福地)
昨年は府中高校創立100周年記念式典に参加し、母校のすばらしさに改めて感動しました。「よー帰って来たねえー」の言葉がとっても嬉しく、5月19日の福山支部の幹事学年なので府中に帰ってきます。

昭和50年卒 奥田 達郎

昨年5月より関東に赴任してきております。

富永 博敏

昨年は結婚式でサボりましたが今年は満を持して参加します。

昭和51年卒 養安 理恵 (旧姓 脊尾)

幹事・年次世話人の皆様いつもありがとうございます。今年も楽しみに出席させて頂きます。

服部 修二

多忙の為出席は難しそうです。もし調整がいたら、顔だけださせていただきます。

昭和52年卒 北川 宏

今、メキシコで工場立ち上げの為3月から赴任しています。

昭和54年卒 坪井 正博

昨年から今年にかけて特に大きな変化はありませんでした。日々「肺がん患者」さんを前に精進しています

石田 京子 (三好)

毎年時間が取れず失礼しております。いつの日か出席できればと思っておりますので、会報や案内は引き続きお願い致します。

昭和55年卒 黒阪 達子 (松岡)

いつもご連絡ありがとうございます。会には出席できませんが、今後も府中高校同窓会の発展を祈っております。

保科 徹哉

現在札幌で部長職を授かって勤務しております。今年は雪が多く、大変なシーズンでしたが、何とか生きております。またお目にかかれる日を。

渡辺 理生

出席出来るメドが立ちました。宜しくお願いします。

天野 晴元

初めて参加させていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

唐川 照史

先日の年次世話人代理出席で大変お世話になりました。今後55年卒の関東在住者も来年に向けなお一層結束のうえ、東京支部発展に寄与したく思っております。

昭和56年卒 永久 徹

過日、警視庁本所警察署副所長として異動しました。

昭和57年卒 入江 美津

いつもありがとうございます。200名分の会報をどうやって封書にしたんだろうと思うと頭が下がります。1年生の時数ヶ月だけ放送部に在籍しました。次回の会報も楽しみにしています。

小川 明美 (旧姓 林)

いつも連絡ありがとうございます。総会には出席できませんが、会報がいつも楽しく読ませていただいています。

山中 由美 (旧姓 北熨斗)

この春、我が家はまた引っ越しをしました。やっと家を購入し転勤による引っ越しばかりの人生も終わり？になると思います。来年こそはまた参加したいです。

松田 吉紀

ご案内ありがとうございます。当日参加させて頂くことを楽しみにしています。

平田 夏樹

スケジュールが不規則な仕事のため、今回も欠席します。すみません。

平山 知子 (旧姓 水金)

パートですが歯科衛生士に復帰し、土曜日は仕事の為残念ながら欠席させていただきます。

田邊 禎二

当日は新市で土手の草刈りです

昭和58年卒 木川 晃子 (能宗)

子どもの運動会もあり欠席しますが、ご盛会をお祈り申し上げます。

松葉 達憲

平塚市立大住中学校に転勤しました。仕事がどうしても行けません。すみません。今後ともお世話になります。

昭和59年卒 安原 良恵

十枝 (小森) 郁子さんも出席します。59年卒野球部マネージャーと一緒にしていました。

昭和60年卒 金原 英香 (旧姓 江坂)

仕事はいつ欠席させて頂きます。申し訳ありません。

昭和61年卒 宮井 裕子 (和田)

同期とはFBで交流しています。会の成功をお祈りしております。

訃 報

謹んで哀悼の意を表します

河面 貢様 (昭和23年卒)

辻 武保様 (昭和25年卒)

服部 守弘様 (昭和26年卒)

石岡 勝喜様 (昭和27年卒)

真田 進様 (昭和27年卒)

小川 朝男様 (昭和28年卒)

掛江 正浩様 (昭和28年卒 元支部長)

丸山 正種様 (昭和31年卒)

奥田 陽三様 (昭和32年卒)

福万 博教様 (昭和33年卒 年次世話人)

樽崎 洸様 (昭和33年卒 本部長副会長)

出原 義識様 (昭和35年卒)

宇野 精介様 (昭和36年卒)

中本 博通様 (昭和42年卒)

愛久沢 京子様 (昭和44年卒)

府中高校東京支部の同窓会へ 2013年4月2日

昨年の創立100周年、お祝い申し上げます。

昨今の激しい統廃合のあって、母校が変わらず同じ場所にあり、後輩たちが今も同じ制服を来て通学しているとは、嬉しい限りです。

私は、昭和48年卒業ですので、もうかれこれ卒業以来40年経ちました。在学中は、ちょうど新校舎への移行期で、ずっと校内は、工事中でした。あの古めかしい立派な講堂だけは、卒業するまで取り壊されずにあって、合唱コンクールや卒業式をしたのをよく覚えています。その後、神奈川県の高尾高校の教員になったのですが、味気ない体育館で儀式をする度に、母校の重厚な講堂を思い出したものです。

現在、アメリカのソルトレイクシティに在住しております。もう、今年でアメリカ生活は、26年目になります。最初は家族の転勤で来たのですが、居心地がよく長居をしてしまいました。17年程前、日本語教師をする機会に恵まれ、ここにありますユタ大学という州立大学で教えています。高校生の頃、外国へ行って何か仕事をしたいと思っていましたが、こういう形でアメリカ人学生や外国の留学生と接触し、日本では中途退職した教職という仕事を再び続けることができ、幸せです。すべての土台は、府中高校での学びにあつたと感謝しています。

昨年の冬は、母が府中市内の病院に入院したので、実に30年振りに府中駅界隈に行きました。私は、駅家中学校出身で、福塩線の戸手駅から電車通学をしていましたが、帰りの通学路だった銀天街はすっかりなくなって、びっくり。時の流れを痛感しました。でも、病院から見える町の景色は、穏やかで昔と同じでした。芦田川やその後方に重なる山並みは、優しく、人を寄せ付けぬ切り立ったソルトレイクの山とは大違いです。

遠くにおりますので、同窓会にはなかなか参加できませんが、必ず一度参加したいと思っています。ソルトレイクはスキー場でも有名ですので、こちらにお越しの際は、ぜひ連絡してください。また、写真は、娘と祇園祭のお手伝いをしているものです。毎夏、日本での居住地である京都に帰り、祇園祭を手伝います。私の家は、祇園祭の行われる「やまほこ町」室町通にあります。その頃、京都に来られたら、これもまた立ち寄ってください。近所の人と町席でお待ちしております。では、母校の増々の発展をお祈りします。

昭和48年卒業 東 容子/Yoko Azuma/ (旧姓 井上)



「ほんものを世界へ」

先日2年越しの夢が叶った。私の作製する木製iPhoneケースが海を渡ったのだ。今それはセンスのいい海外のセレクトショップのガラスケースにディスプレイされている。WEBサイトを通じてこれは本物だと思ってくれたそうだ。その会社が新店舗をオープンする際には、現地のオープニングプレスイベントに私を招待してくれた程だ。

私には1歳の娘がいる。地域で13年ぶりに誕生した子供だ。私の同世代は沢山いるのだが、みな都会に就職したまま帰ってこない。地元に戻ろうにも仕事がない。かくいう私も大阪で就職し10年間働いていたがなんとか帰ることができた。同世代の働き盛りが地元に戻ろうにも帰れない。ならば自分で魅力ある職場を作り受け皿になろうと考えた。娘に沢山の友達と学校に通ってほしいと願う一心からだ。

では魅力ある職場とは何か？私には「海外」という2文字しか思い浮かばなかった。なぜなら東京でも大阪でも地方でも海外から見ると同じ「JAPAN」だからだ。幸運にも本物を頑なに作り続ける歴史と技術のある企業が私の地元にもいくつかある。地方のモノづくりをインターネットを駆使し世界に発信する。そして大都市に負けない魅力ある企業に成長させ、同世代が一人でも多く帰ってこられる環境を構築したい。

私の踏み出した一歩は小さいかもしれないが無限の可能性を秘めている。なぜなら「ほんもの」は世界中どこでも通用するのだから。(松葉製作所=広島県府中市)平成6年卒業

松葉 寛和 (まつば ひろかず)

ホームページは検索サイトで「松葉製作所」で出てきます！

<http://www.matsuba-factory.com>



府中高校同窓生のみなさまこんにちは。1995年卒の小川恵子と申します。ご縁があってこちらに寄稿させていただくことになりました。よろしければしばらくお付き合いください。

私の実家は府中高校の前でお店をやっています。昔、屋号が「小川商店」だった頃、お店にいらっしゃる学生さん達の会話の中に「マエミセ」という名前がしょっちゅう出てきたんだそうです。一体どこにあるお店なのか不思議に思った祖母が聞いてみたところ、なんと自分のお店のことだったのでした。それをきっかけに屋号も「府中高校前店」に変わり、今も「前店」として親しんでいただいています。もしか



わたしのマチオモイ帖については
<http://machiomoi.net/>

したら、今これを読んでくださっている方の中に「前店」の産みの親がいらっしゃるかもしれませんね。

さて、そんな「前店」で生まれ育った私ですが、今は東京で本のデザインの仕事をしています。今年の始めに「わたしのマチオモイ帖」という、クリエイターがそれぞれ自分の思いのある「町」を冊子などで紹介する展覧会が全国で開催されました。私もイラストレーターの風間勇人さんとともに参加しています。私たちが作成したのは『府中帖～ようこそ府中高校前店へ』という小冊子です（左写真）。東京で暮らす風間さんから見た「前店の日常」を切り取った内容になっています。この小冊子は展示のためだけに作成したのですが、見てくださった方から多くのお問い合わせをいただいたこと、そして昨年の4月に祖母が他界したことで少し気持ちが変わりました。

祖母は姉御肌の強い人で、最後まで家で一番のリーダーでした。お店を長年やっていたので、暗算が人一倍早かったです。私は祖母と母の3人暮らしで、祖母の強さをやかましく感じたりすることもありませんでしたが愛情深くてどこかにくめない人でした。お客さんである生徒さんにも本気で怒るものだから、子どもの私は、なんてひどいお店だ！って

びっくりしたものです。でもその怒られた生徒さんが、卒業後祖母に会いに来てくださるのです。そして祖母はそれが大好きでした。卒業生の方が元気で活躍されているのを見聞きする時、何よりも嬉しそうでした。

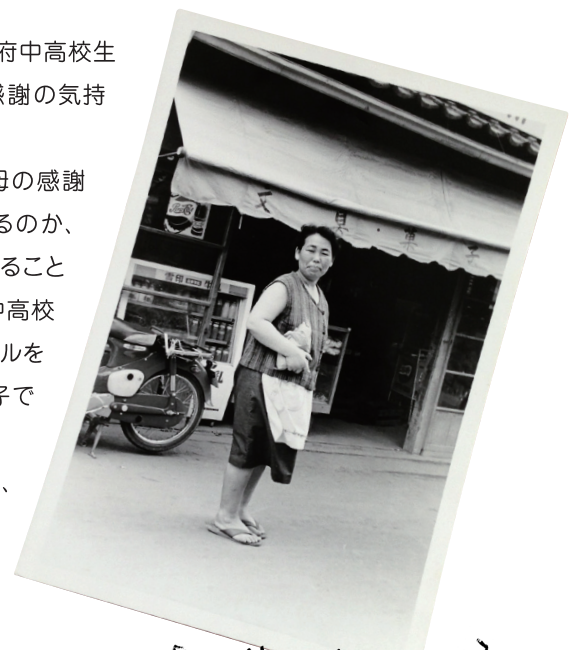
「私は府中高校の前でお店をやらせてもらって、たくさんかわいい学生さんに囲まれてほんとうに幸せな人生だった。」祖母が亡くなる1ヶ月ほど前、母に遺した言葉です。

祖母を近くで支えてくださり、楽しい毎日を与えてくださったのは府中高校生のみなさんでした。そんなに幸せな人生にさせていただいて私や家族も感謝の気持ちでいっぱいです。

この祖母の言葉を聞いて、すこしでもたくさんの卒業生の方に、祖母の感謝の思いを伝えたいと思いました。ただ、私ひとりでもどこまで伝えていけるのか、どのように伝えればいいのかまだ模索中です。そこで、まず自分にできることからと思い、もし欲しい方がいらっしゃいましたら『府中帖～ようこそ府中高校前店へ』を差し上げることにしました。ogakero@gmail.comまでメールをいただければ送料実費でお送りします（数に限りがあります）。この冊子で府中高校や前店をなつかしく思い出して下さったらうれしいです。

今は母がひとりでお店を切り盛りしています。東京からは遠いですが、また府中に帰られましたら、いつでも前店に遊びにきてくださいね！

平成7年卒業 小川恵子



このような機会を与えてくださった長谷川陽一さん、本当にありがとうございました。

ありがとう

(最後に祖母の自筆で)



太田尻海岸の朝焼け

■大海原の前の小さな旅館『うのしまヴィラ』がリニューアルオープンします。

昭和52年卒業の原田実能です。

縁あって平成3年11月より、嫁さんの実家の家業を継いで、茨城県日立市の風光明媚な海岸の前で『鵜の島温泉旅館』という旅館を営んでいました。が…3.11の震災と津波で、旅館の3分の2の建物が全壊し休業となってしまいました。予想だにできなかった自然の猛威の前に茫然としながらも、再建の時を信じて過ごしてきたこれまでの三年間は、意義深い日々となりました。

有り難いのは家族の存在です。震災直後から家族と従業員のおばさんたちと一緒に津波の跡片付けをしながら、今後の旅館をどうしようかと何日も何日も話し合いを重ねました。そんな中で大学受験の年を迎える息子に『お前は何をやりたいんだ』と尋ねると、息子は『小さな旅館がやりたい』と答えてくれました。

あらゆるものが一瞬にして無くなっても落胆もせず、無我夢中で歩んでいた私たち夫婦でしたが、このとき初めて涙がこぼれました。それは不思議な喜びの涙であり、この言葉が私の再建に向かったの揺るがない原動力となりました。雨が降ろうが、槍が降ろうが、津波が押し寄せ風が吹き荒れようが、私の夢はここにあると思えたのです。

しかし、実際の再建への道のりは山あり谷ありの厳しい現実がありました。有り難い事に、国の中小企業グループ補助金の交付申請の決定の声を、震災から1年10か月が経った平成25年の1月に聞くことができ、融資への心強い後ろ盾をいただきました。長い長い滑走路を走り続けて、やっと離陸できる手ごたえを感じた瞬間でした。

新しい旅館のとんがりづくりとして、「ジュニア野菜ソムリエ」の研鑽を積み、地元の農家の方々との交流を深めつつ、日本BBQ協会の「上級インストラクター」として、ビーチバーベキューのイベント企画なども開催して来ました。嫁さんも調理師の国家試験に合格し、ともに思いつくことは何にでもチャレンジしてきました。

震災で強く感じたことは…つながっていることの大切さと…当たり前のもが普通にあることへの驚きと有り難さです。そして、再建に至るまでのこの期間、府中高校同窓会東京支部のみなさんからの、あたたかい応援の声にどれだけ励まされ勇気づけられたことでしょうか。この場をおかりして、改めてこころより感謝申し上げます。ありがとうございました。

お陰さまでこの度、心機一転、その名も新たに『うのしまヴィラ』として桜咲く4月吉日にリニューアルオープンする運びとなりました。全7室の小さな旅館ですが、現在の私たちにできる最善の思いの結晶であり、お客さまに喜んでいただけるおもてなしを具体的な形にしていける夢の場でもあります。

海と自然と食を通して人と人との「つながり」を大事にし、あたたかいおもてなしを心がけていきます。そして、みなさんのセカンドハウスのようなフレンドリーな旅館としてご利用いただける環境づくりにこれからも精進して行きたいと思っています。是非ともご来館くだされば幸いです。みなさんとお会いできる日を楽しみにしています。

うのしまヴィラWebサイト ⇒ <http://unoshima-villa.com/> 茨城県日立市東滑川町5-10-1

2014/2/9 広島県立府中高等学校 昭和52年卒業 原田実能（はらだみのう）



旧 鵜の島温泉旅館



解体工事



建築中のうのしまヴィラ

今年の当番幹事 55年卒から

平成26年は5月24日土曜日 13時から 東京神田
神保町の学士会館で支部総会・懇親会を致します。

今年の総会・懇親会テーマは「チーム55、プロジェクト200」を掲げています。

それというのも今年の当番幹事は昭和55年卒業が務めさせていただいておりますが、55は、GO!GO!でもあり、私たちとしては参加者200名に向けての活動を1年間かけて行う上での決意を「チーム55 (GO!GO!) プロジェクト200」に込めさせていただきました。

今年の総会では恒例のミニコンサートに加えて、現筑波大学1年生 四茂野貴大さん (第56回 日本科学賞 文部大臣賞受賞 米国・インテル国際科学技術フェア2部門入賞) にも参加いただき、その栄誉を皆で称えたいと考えています。また、懇親会では楽しい試みも用意していますので、初めての方も是非ご参加ください。皆様と当日お会いできることを楽しみにしています。



オカリーナ奏者・おがわゆみこ

広島県出身、駒沢女子大学保育科卒業。

1992年よりオカリーナを平本孝雄氏に師事
1997年カーネギーホールでのオカリーナ・アンサンブルの演奏に参加。カンターレ・オカリーナ専任講師として県内13ヶ所で指導。ギター文化館音楽院オカリーナ講師。

故郷広島で10回のハートフルコンサートをはじめ、野口雨情生誕120周年コンサート、県民文化センター友の会総会、ふるさと歌唱祭、調布市『小さな小さな音楽会』等、各地で演奏活動を行う。

2008年からギター文化館で、毎年2回のコンサートをし、石岡市でのおしゃべりコンサートに出演。2009年1月には台湾で、中日陶笛交流会のゲストとして演奏。2010年1月アコーディオン奏者・桑山哲也氏のコンサートにゲスト出演。

2011年11月、石岡市・おしゃべりコンサートで、N響団友オーケストラと共演。音楽評論家・永田文夫氏(『恋心』等多数訳詞)プロデュースの東日本大震災復興支援・三越劇場・ポピュラー・ハイライト連続出演。フラメンコギターのパイオニア・伊藤日出夫氏他と共演。

2012年4月日本を代表するコンサート・フラメンコギタリスト・吉川二郎氏と共演。

2013年11月啼鵬氏(バンドネオン)と共演。2010年7月、ファーストアルバム『心音』をリリース。

東京支部が母校や郷里に貢献できる事

府中高校の卒業生は、さまざまな分野で活躍されています。そのような同窓生とお話できるのも総会・懇親会の楽しみの一つです。このように同窓生に恵まれたのは、100年に渡る母校の伝統のお陰です。そこで東京支部では、母校や郷里に恩返しができないかと模索しています。たとえば、

(1)「同窓会東京支部おすすめの本」コーナーを図書館に設置

(2)「卒業生の著作」コーナーを図書館に設置

(3)東京支部会員による出前講演等を考えています。

(1)では主として理系の図書50冊を寄贈することにしました。(2)は本部同窓会と協力して、卒業生の著作発掘から始めています。もしご存じの作品がありましたらぜひお知らせ下さい。(3)は東京支部で活躍しておられる方々の生のお話に触れて、先輩方の活躍ぶりを知っていただくためであり、(2)の趣旨と重なります。このような企画を通じて、生徒さんがたが将来の夢を探り、大きく羽ばたいていただけることを願っています。



新たに支部HP広報委員になって下さった57年卒 森下ことみさんと、58年卒 加藤雅子さん (お酒も任せてっ！)

編集後記

平成25年度は、例年以上に多くの同窓生の方と巡りあえた年でした。

左の加藤雅子さんとは昨年の総会の二次会で初めてお目にかかり、とんとん拍子にHP担当になって下さいました。(59年卒田口さんに感謝)

また、府中で頑張っている松葉製作所の松葉寛和さんは、偶然聞いたPodcastの番組で知り、強引にも工場にお邪魔して取材をさせていただきました。こうして第7号をお送りできるのも皆さまからのご援助、ご協力があったの事と改めてお礼申し上げます。毎年頂戴する出欠ハガキには、実家の親御さんやご家族の介護、ご自身のお身体の調子など綴られていて、本当に精一杯生きておられるのだとしみじみと思いました。今年度も同窓の横や縦のご縁がますます広がりますよう、同期会や各種イベントなどの情報がありましたら是非是非取材させて下さい。編集責任者 長谷川陽一 (57年卒)